

テレビ静岡では番組の適正化を諮るための審議機関「番組審議会」を設けています。

このページでは番組審議会の議事の概要をお知らせしています。現在、テレビ静岡では県内在住の８名の方に審議委員をお願いしており、毎月１回（２月、８月は休会）番組について、ご意見を伺い、番組制作の参考にさせていただいています。

テレビ静岡 ２０２４年９月度 番組審議会概要

２０２４年９月１２日（木）１４時～

― 出席委員 ―

高木 正和（委員長） 戸崎 文葉（副委員長） 上柳 正仁
志田 倫子 大木 由美子 柏田 健次郎 小林 裕規 ※飯野委員は欠席

― 議 題 ―

番 組 名 「のこりものにはワケがある」

放送日時 ２０２４年８月１６日（金）１９時００分～１９時５５分

制作著作 テレビ静岡

― 番組内容 ―

のこり続けるって…スゴくない？

「新型コロナウイルス」「AI革新」「気候変動」…めまぐるしいスピードで色々なものが変化していく現代。

その一方で、昭和・平成・令和と、時代を経ても変わらずに、多くの日本人に支持され続ける「のこりもの」が存在する。

「のこりもの」たちが愛される理由には、私たちが激動の今を生きるヒントが隠されている。

― 審議概要 ―

◎非常に面白い視点で作られていると思った。時代を超えて愛され続ける「のこりもの」には、それぞれに進化やチャレンジがあることを発見できた。

◎長続きする商品をクイズで考える企画がよかった。４つのテーマのいずれかには誰でも興味を持てる内容だった。

◎長い間には「不毛の時代」もあるが、ひとりで考えるだけでなく、若い人や子どもの

声に耳を傾けることも大事という、生き残りのヒントを見つけられた。

◎「のこりもの」に共通点があるのではなく、それぞれに理由やエピソードがあってり
続けていることが、自分の感覚と違って勉強になった。

◎今回は有形の「のこりもの」だけだったが、文化や習慣、言葉や表現等に広げてもよ
かったのでは。

◎ひとつひとつの取材や説明が丁寧で、長く残るものにワケがあることが納得できた。

以上、制作部門にフィードバックし、今後の番組作りに活かしてまいります。

次回の番組審議会は 2024 年 10 月 10 日（木）の予定です。